

平成30年度全高長生徒指導研究委員会アンケート

《回答（回答用紙）の仕方についてのお願い》

質問に対する回答を選び、回答欄（回答用紙）の該当箇所に「1」（半角）を入力してください。

1 規範意識に関する現状と課題について

問1 生徒に特に求めたい規範意識とはどのようなことですか。3つ選んでください。

- |               |              |
|---------------|--------------|
| ア 時間に関すること    | イ 服装等に関すること  |
| ウ 授業態度に関すること  | エ 挨拶に関すること   |
| オ 言葉遣いに関すること  | カ 校内美化に関すること |
| キ 交通マナーに関すること | ク その他（ ）     |

問2 貴校の生徒が身に付けていると思われる規範意識はどのようなことですか。

3つまで選んでください。

- |               |              |
|---------------|--------------|
| ア 時間に関すること    | イ 服装等に関すること  |
| ウ 授業態度に関すること  | エ 挨拶に関すること   |
| オ 言葉遣いに関すること  | カ 校内美化に関すること |
| キ 交通マナーに関すること | ク その他（ ）     |

問3 貴校の生徒が身に付けていないと思われる規範意識はどのようなことですか。

3つまで選んでください。

- |               |              |
|---------------|--------------|
| ア 時間に関すること    | イ 服装等に関すること  |
| ウ 授業態度に関すること  | エ 挨拶に関すること   |
| オ 言葉遣いに関すること  | カ 校内美化に関すること |
| キ 交通マナーに関すること | ク その他（ ）     |

問4 10年前と比べ、高校生の全体的な規範意識の傾向をどう感じますか。

- |            |            |
|------------|------------|
| ア 向上している   | イ やや向上している |
| ウ やや低下している | エ 低下している   |

問5 貴校で10年前に多かった生徒指導上の問題行動はどのようなことですか。  
3つまで選んでください。

- |              |             |
|--------------|-------------|
| ア 暴力行為       | イ いじめなど人間関係 |
| ウ ネット関係のトラブル | エ 万引き・窃盗    |
| オ 飲酒・喫煙      | カ 他校とのトラブル  |
| キ 暴走行為       | ク その他 ( )   |

問6 貴校で現在多い生徒指導上の問題行動はどのようなことですか。  
3つまで選んでください。

- |              |             |
|--------------|-------------|
| ア 暴力行為       | イ いじめなど人間関係 |
| ウ ネット関係のトラブル | エ 万引き・窃盗    |
| オ 飲酒・喫煙      | カ 他校とのトラブル  |
| キ 暴走行為       | ク その他 ( )   |

問7 貴校の規範意識への対応策で効果が上がっていると思われるものを3つ選んでください。

- |                |              |
|----------------|--------------|
| ア 指導方針等の内外への公開 | イ 校長講話       |
| ウ 集会等における指導    | エ 保護者会での説明   |
| オ 授業公開         | カ 校内研修       |
| キ マナー教室        | ク 奉仕(清掃)活動   |
| ケ 面談           | コ 生徒会や委員会の活動 |
| サ 登下校時の指導      | シ その他 ( )    |

問8 問7で選んだものの具体的な内容を記入してください。

( )

問9 貴校では校内の生徒指導基準(特別指導等)を生徒や保護者に周知していますか。

- ア している(→問10)      イ 検討中      ウ していない(する予定なし)

問10 問9でアと答えた方へ。そのことが生徒指導上効果があると思いますか。

- ア ある      イ ややある      ウ あまりない      エ ほぼない

## 2 高等学校における合理的配慮について

問1 合理的配慮の申請により特別な支援を受けている生徒はいますか。

ア はい → 問2から最後までお答えください。

イ いいえ → 問6から最後までお答えください。

問2 どのような障害により支援していますか。（複数回答可）

ア 視覚障害          イ 聴覚障害          ウ 知的障害          エ 肢体不自由

オ 病弱                  カ 言語障害          キ 自閉症・情緒障害          ク 学習障害

ケ 注意欠陥多動性障害          コ その他（                                  ）

※障害種は、文部科学省「合理的配慮等環境整備検討ワーキンググループ報告」による。

問3 教育内容・方法に関して配慮・支援を行っていますか。（複数回答可）

ア 学习上又は生活上の困難を改善克服するための配慮

イ 学習内容・評価基準などの変更・調整

ウ 情報・コミュニケーションおよび教材の配慮

エ 学習機会や体験の確保

オ 心理面・健康面の配慮

カ その他（                                  ）

問4 支援体制に関してどのような配慮・支援を行っていますか。（複数回答可）

ア 専門性のある指導体制の整備

イ 生徒・教職員・保護者・地域の理解啓発を図るための配慮

ウ 災害時等の支援体制の整備

エ その他（                                  ）

問5 施設・設備に関してどのような配慮・支援を行っていますか。（複数回答可）

ア 校内環境のバリアフリー化

※小問「ア」を選んだ方は、現在整備されているものを下記からお選びください。

- ①車椅子用スロープ ②車椅子用トイレ ③エレベーター ④階段昇降機  
⑤その他（ ）

イ 障害・発達の状態および特性に応じた指導ができる施設・設備の配慮

ウ 災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮

エ その他（ ）

問6 合理的配慮を図る上で、現在取り組んでいる基礎的環境整備がありますか。

(複数回答可)

ア ネットワークの形成・連続性のある多様な学びの場の活用

イ 専門性のある教員・支援員等の人的配置

ウ 個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成等による指導

エ 教材の確保

オ 施設・設備の整備

カ 個に応じた指導（個別・少人数指導等）や学びの場の設定（通級等）によ

る

特別な指導

キ 交流および共同学習の推進

ク その他（ ）

ケ 現時点では取り組んでいない。

問7 合理的配慮を提供していく上で、課題であるとお考えのことはありますか。

(複数回答可)

ア 本人・保護者との合意形成

イ 本人の実態把握

ウ 外部機関との連携

エ 専門性のある教職員・看護師などの確保・人的配置

オ 教職員の理解・協力

カ 他の生徒・保護者・地域の理解

キ 施設・設備の充実

ク 災害時等の安全の確保等

ケ その他（ ）

コ 特に課題はない。

問 8 あなたの学校で、合理的配慮の申し出はないが、配慮・支援が必要と思われる生徒はいますか。

ア いる           イ いない

問 9 今まで行ってきた合理的配慮の事例の中で、効果的であった事例で紹介できるものがあれば、1つ具体的に簡潔に書いてください。

### 3 生徒指導における外部機関との連携について

【1】国立教育政策研究所は平成22年度「生徒指導資料集4」を発行し、その中で「学校と外部との連携について」下記の表に整理しています。ついては、下記の表を参照して、外部との連携について以下のアンケートにお答えください。

<日々の連携>

項目	目的	具体例
ア 健全育成の推進	規範意識の醸成 自尊感情の醸成 自己指導能力の育成 危険回避能力の育成 問題行動等の未然防止 家庭教育の支援	交通安全教室、防犯教室、薬物乱用防止教室（喫煙防止、飲酒防止を含む）、非行防止教室、情報モラル教育、健全育成に関する講演会など
イ ネットワークの構築	情報交換 連絡体制の整備（役割分担の確認、連絡先・担当者等の確認）	情報交換会、連絡協議会、問題行動対応マニュアル、関係機関等一覧表など
ウ 生徒指導體制の充実	教職員の指導力の向上	関係機関等の職員を招いての研修会、ケース会議、事例検討会など

問1 あなたは、上記表の「日々の連携」の項目「ア 健全育成の推進」「イ ネットワークの構築」「ウ 生徒指導體制の充実」の中でどの項目が一番大事だと思いますか。

問2 貴校では上に掲げた「日々の連携」を行っていますか。

ア はい → 問3、4をお答えください。

イ いいえ → 問5をお答えください。

問3 貴校では「日々の連携」において連携上の課題となることはありますか。

ア はい → 具体的にお書きください。

イ 特にない

問4 貴校では「日々の連携」について、今後も続けますか。

ア はい                      イ いいえ                      ウ 検討中

問5 その主な理由は何でしょうか。具体的にお書きください。

【2】「豊かな心」の育成における外部機関との連携についてお答えください。

問1 貴校では、道徳等の授業以外で「豊かな心」の育成に取り組んでいますか。

ア はい → 問2以降にお答えください。

イ いいえ → 以上で終了です。

問2 「豊かな心」の育成を外部機関と連携して行っていますか。

ア はい                      イ いいえ

問3 外部機関と連携してどのような活動を行っていますか。(複数回答可)

ア 講演会等                      イ ボランティア活動等

ウ 交流会・体験活動等                      エ その他 (                      )

問4 外部機関と連携して教育的効果はありましたか。

ア 十分あった                      イ あった                      ウ あまりなかった

問5 今後も外部機関との連携を継続させ充実させるために今以上に必要なものは次のうちどれですか。(複数回答可)

ア 予算                      イ コーディネートする人材

ウ 連携する機関の情報                      エ 実践例等を含めた教材

オ 実施のための時間的余裕                      カ その他 (                      )